

# 柳沢築堤事業の**早期完成を目指して！**

## 《工事再開、急ピッチで進める》

### 千曲川河川事務所

#### 【概要】

中野市柳沢地区は、千曲川の出水により度々浸水被害が発生している地域です。千曲川河川事務所では再度災害の防止を目標に無堤地の解消を進めています。

柳沢築堤工事は平成20年3月完成の予定で工事を開始しましたが、平成19年10月に遺跡調査により、東日本で初めての「銅戈・銅鐸」が発見され、遺跡の詳細調査のため築堤工事は中断してきました。

遺跡の取り扱いについて、関係機関と度重なる協議を実施、「記録保存」に決定されたため、9月25日から残る遺跡の本発掘調査と並行して工事を再開、今年度末完成に向け工事を急ピッチで行っています。

築堤が完成することにより、昭和57、58年に12戸の浸水がありましたが、同様の洪水での浸水被害を防ぐことが可能となります。

#### 【問い合わせ先】

国土交通省 北陸地方整備局 千曲川河川事務所

副所長(技) 石川 俊之

工務課長 伊藤 善和

調査課長 関 敏文

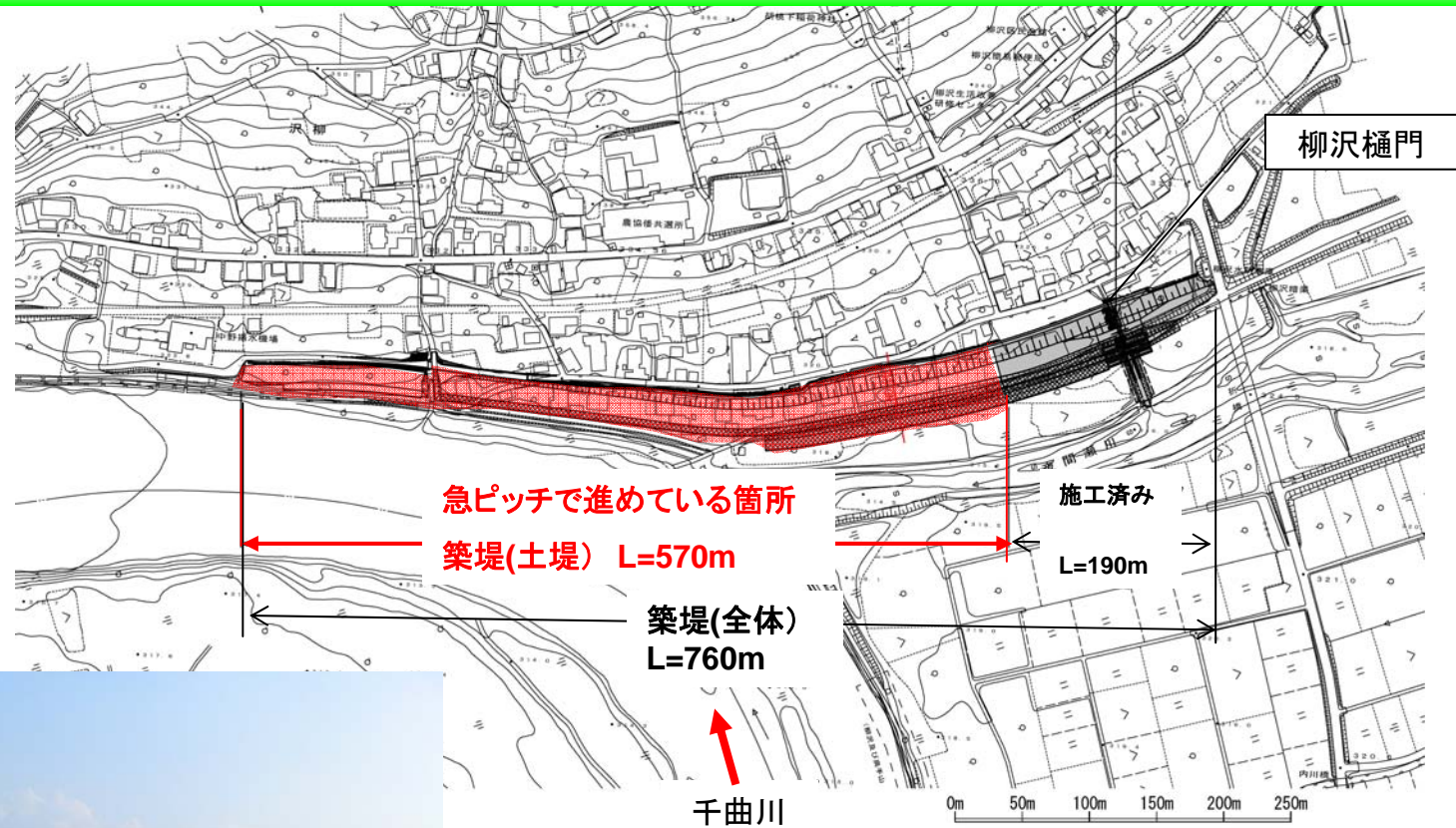
電話 026-227-7611 (代表)

<http://www.hrr.mlit.go.jp/chikuma/>

※当資料はホームページでも見るすることができます。



# 3月完成目指して工事は急ピッチ (中野市柳沢地区)



急ピッチで工事を進めています



水路の施工状況



工事と並行で本発掘調査も実施

# 過去の増水における浸水被害 (中野市柳沢地区)

柳沢地区は無堤地区のため、昭和57・58、平成16・18年と浸水被害が発生している箇所であり、**早急な対応が必要**とされている



堤防整備中の柳沢地区 浸水状況  
(H18年7月19日17時頃)



H16台風23号時の柳沢地区  
浸水状況



昭和58年 浸水状況

## 浸水被害

※浸水戸数については市からの聞き取り

	浸水戸数			立ヶ花水位 (m) 計画高水位(HWL):10.75 はん濫危険水位(危険水位):8.60
	床上	床下	計	
S57	9	3	12	10.54
S58	9	4	12	11.13
H16	(3)	(8)	(11)	10.32
H18	(0)	(2)	(2)	10.68



( )書きは、平成14年からの改修事業による家屋移転に伴い、浸水戸数が減少

# 柳沢築堤の事業概要、主な経過

## 事業の概要

千曲川河川事務所では、千曲川・犀川流域内に生活する人々の生命や財産を洪水等の被害から守ることを目的として、現在、無堤地区の解消(再度災害防止)を重点課題として事業を実施しています。

中野市柳沢地区は、昭和57・58、平成16・18年の出水により多数の床上床下浸水被害が発生している箇所であり、また、千曲川本川の水衝部となっているため、千曲川の出水時は危険な状況となることから、築堤工事を行い治水安全度の向上を図るものです。

## 主な経過

年月日	内容	備考
平成14年4月	柳沢築堤事業着手	
平成14～16	用地・家屋補償	
平成17年度	遺跡試掘調査実施	
平成18年10月～12月	本発掘調査実施	上流より約2,000m <sup>2</sup>
平成19年1月～平成19年3月	築堤及び柳沢樋門 施工	上流部の発掘済み箇所
平成19年9月～12月	本発掘調査実施	中流部
平成19年10月	青銅器埋納坑より銅戈、銅鐸の出現	東日本初の出土より、全国的な話題に
平成19年11月～	遺跡の取扱について、関係機関と協議	
平成20年5月～	本発掘調査実施	中下流部
平成20年8月	遺跡については、記録保存で決定	
平成20年10月	築堤事業の再開	